

北九州市卸売市場の経営展望（素案）について

1 策定の経緯

平成28年1月に農林水産省が公表した「第10次卸売市場整備基本方針」では、卸売市場それぞれのビジネスモデルと経営戦略の確立が求められている。

これを受けて、開設者及び市場関係業者が一体となって、今後の市場運営の方針等を定めた新たな「経営展望」を策定するもの。

策定に当たっては、外部の有識者を加えた懇話会を開催するとともに、実務者を中心に青果部・水産物部ワーキンググループにおいて検討を重ねてきた。

2 主な内容

- ① 北九州市卸売市場が市民生活に果たす役割や、市内経済への影響等を定性的・定量的に評価し、本市場の立地条件や強み・弱み等を分析。
- ② 青果部と水産物部それぞれに「目指す方向性」を定め、基本戦略（ビジネスモデル）と行動計画を策定。

○青果部 『本市場の独自性と強みを活かすことにより、出荷者要望と消費者ニーズに応える柔軟性を持った活気ある市場』

～ 平成33年目標値 17万トン以上 ～

- ・ 恵まれた物流拠点を活かした大規模な集荷・分荷機能の強化（遠隔地や大型産地からの大規模な集荷力の強化と産地開発）
- ・ 効率的な施設整備による流通機能の充実
- ・ 効率的かつ将来を見越したコールドチェーン整備の検討

○水産物部 『北九州200万人都市圏の食を支え、文化を育む市場』

～ 平成33年目標値 1万6千トン ～

- ・ 市場発水産物のブランド力向上（地魚のブランド力向上）
- ・ 競争力強化のための施設整備（コールドチェーン整備の検討、活魚槽及び活魚売場の機能強化）

○市場全体で取り組むこと

- ・ 市場情報の受発信
- ・ 北九州の食文化・魚食文化の継承や食育活動の推進

○今後の再整備の方向性について

今後の管理・運営体制、整備計画、土地利用のあり方など基本的な考え方を整理。平成29年度から「市場再整備等基本方針」の策定に着手。

3 今後のスケジュール（案）

- ・ H29年5月 市民意見募集
- ・ H29年6月 「第3回卸売市場経営展望を考える懇話会」開催及び「中央卸売市場等開設運営協議会」への報告を経て、公表